

市長の責任を問う

「高杉常総市長に対する問責決議」

高杉常総市長に対する問責決議

常総市の消防行政は2006年の合併来、旧水海道地区は常総地方広域市町村圏事務組合（以下、常総広域）、旧石下地区は茨城西南地方広域市町村圏事務組合（以下、西南広域）に分かれて消防行政を行ってきた。市の方針としては市民の生命、財産、安全を確保するためこの消防行政の一元化を進めてきたところである。

昨年、8月19日に開催された議員全員協議会において、旧石下地区の消防を常総広域に一元化するための具体的な案が示されたが、その後事務レベルでの折衝が続き、常総広域の管理者側から旧石下地区の加入のための条件が提示された。本年2月19日に開催された常総広域の管理者会において、加入のための条件を受け入れない限り旧石下地区の常総広域への加入は認められないと通告された。

高杉市長はこの状況を打開するための唯一の手段として、常総広域の議会の開催を当市選出の広域会議議長に求めたものの、その結論は大変難航を極めるものと想像に難くない。

このように、消防一元化問題は完全に暗礁に乗り上げ、かつ当初の議会への説明とは全く異なった方向にむかうことは、高杉市長の常総広域への一元化に対する市長としての一連の交渉過程に問題があったものと言わざるを得ず、また現在加入している西南広域の加盟自治体のみならず周辺自治体への常総市の信頼を失墜させ、常総市全体に大きな不利益をもたらすに至らしめた。

よって、常総市議会が高杉市長に対し、全庁を挙げて消防一元化問題の事態収拾をはかり信頼回復に向けて取り組むように強く求めると同時に、高杉市長に猛省を促し、その責任を強く問うものである。

以上、決議する。

平成26年3月17日

常 総 市 議 会

常総市の消防行政一元化に関し、常総市の信頼を失墜させ、常総市全体に大きな不利益をもたらした高杉市長の責任を強く問うもので、賛成多数で可決されました。

不公平感の解消を

学校給食の格差是正を求める決議

学校給食の格差是正を求める決議

市町村合併により常総市が誕生して9年目を迎え、市が玉学校給食センターを運営するようになって2年6カ月が経過しようとしています。

しかしながら、未だに学校給食の給食費が統一されず、献立の内容にも格差がある状況となっています。常総市というひとつの市でありながら、地域によって市の補助額が異なることにより、保護者の負担に格差が生じることは、公平性を保てず、当然市民の理解を得られないものではありません。

また、市内の児童生徒が等しく健康に育つためにも、献立内容を同一のものとするのが望ましいと考えます。

よって、当市議会は、保護者負担の不公平感の解消及び児童生徒の健康を等しく維持するため、平成26年度中に予算措置を行い、給食費及び献立内容の格差是正をするよう強く求めます。

以上、決議する。

平成26年3月17日

常 総 市 議 会

同じ市内の小中学校に通いながら、地域が異なることにより、給食費及び献立内容に格差がある状態が続いていることから、平成26年度中に予算措置を行い、格差を是正するよう求め、決議しました。